

＊ ＊ 育友会総会・部活動懇談会 ありがとうございました ＊ ＊

昨日はお忙しい中、育友会・体育文化後援会総会・部活動懇談会にご出席ください、ありがとうございました。午前中の学校公開では、真剣な表情で授業に臨む生徒たちの姿を見ていただけたのではないのでしょうか。

入学してから早1か月が経とうとしていますが、生徒たちは中学校生活のリズムやルールにも慣れ、全体として良いスタートが切れているように思います。今後ともご家庭との連携を密にしながら、生徒たちが安心して学校生活を送ることができるよう、全力を注いで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



＊ ＊ ＊ 学年スローガン決定！！ ＊ ＊ ＊

さて、1学年の学年スローガンは、「和っしょい！！～広げよう！素直・全力・思いやりの輪～」に決定しました。お祭りなどでお馴染みの「わっしょい」という言葉は、「和」を「背負う（しょう）」に由来すると言われており、「仲間との『和』を大切に、力を合わせて成長していこう！」という願いが込められています。「一人では難しいと感じることも、仲間がいれば成し遂げられることがある。」さまざまな経験を通して、共に成長できる学年でありたいと思います。

また、サブタイトル「～広げよう！素直・全力・思いやりの輪～」は、最初の学年集会で話した内容を受け、各クラスの総務委員が知恵を出し合い、考えました。学年集会では、次のような話をしました。

- ①「素直」…素直な心は、自分自身を成長させるうえで欠かせないもの。自分に間違った考えや行動があったときには、それを素直に認め、人からのアドバイスをきちんと受け入れられることが自分自身を成長させることにつながる。
- ②「全力」…「今」の積み重ねが未来につながる。目の前のことに一生懸命に、全力を注いで取り組んでほしい。
- ③「思いやり」…言うまでもなく、思いやりの心を大切にしてほしい。仲間へ優しい心遣いができる人に。

和っしょい！！



これから先、学級活動や委員会活動、体育祭や文化祭といった学校行事など、仲間と協力して創り上げるものがたくさんあります。時には、壁にぶち当たることがあるかもしれませんが、そんなときには「和っしょい！！」の気持ちで、力を合わせて乗り越えていってほしいと思っています。そして、「素直・全力・思いやり」の輪が広がり、よりよい集団に成長していくことを期待しています。

＊ ＊ ＊ 有意義なゴールデンウィークを ＊ ＊ ＊

さて、生徒のみなさん。明日から4日間の連休が始まります。部活動の練習や大会等があったり、家族や友人との外出の予定があったりと、楽しみにしている人も多いと思います。中学校生活が始まって約1か月、少々疲れがたまっている人もいるかもしれません。心身ともにリフレッシュしつつ、有意義な連休にしてほしいと思います。しかし、つい気持ちがゆるんで羽目をはずし、トラブルに巻き込まれる心配も少なからずあります。交通安全にも十分に気を付け、麻里布中学校の一員であるという自覚をもって行動するよう心がけましょう。



＊ ＊ ＊ 「はきものをそろえる」～大切にしたい心～ ＊ ＊ ＊



はきものをそろえると
心もそろろう
心がそろろうと
はきものもそろろう
ぬぐときに
そろえておくと
はくときに
心が乱れない
誰かが乱しておいたら
だまつてそろえておいてあげよう
そうすれば きっと
世界中の人の心も
そろうでしょう

この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとかうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。戦後、多くの孤児を引き取り、育てていた藤本さんが、ある日、玄関の履き物が脱ぎ散らかされているのを見て、禅宗の教えである「脚下照顧（自分の足下を見る＝我が身を振り返ること）」を子どもたちにわかりやすく伝えるために、この詩を作られたのだそうです。「はきものが散らかっていると、心が乱れている。そろっていれば、心が落ち着いている」ということです。

朝、登校したときに、まず靴のかかとをきちんとそろえて下足箱に入れる。そうすることによって、落ち着いた気持ちで一日をスタートさせることができます。帰るときにも上靴をきちんとそろえて入れる。毎日続けていると、いつの間にか習慣になります。

そして、これは靴に限ったことではありません。自分の机の中やロッカーをいつもきれいに整頓しておくことは、クラスのみんなが気持ちよく生活し、学級の良い雰囲気を保つことにもつながります。

入学当初に比べると、靴をきちんとそろえて入れようと意識している人がずいぶん増えてきました。ロッカーはもうひと息！一人ひとりの「ほんの少しの心がけ」を大切にしたいものです。

